

A③⑧ 25.9 本の整理第3Step 30 年前の思い出～ケンタッキー州と USA

マスコミでは相変わらず線状降水帯の話が騒しい。日本の台風(タイフーン)は USA ならハリケーン。

では日本の線状降水帯はトルネード(ケンタッキーで度々経験)に相当か? やや違う!

・現象:主に 雨(長時間)/風(短時間)で強力な竜巻・上昇気流

(高速道路でトルネード・シェルターに避難も度々体験。個人宅は地下にシェルターを構築)

・被害:洪水、土砂災害、水害/建物倒壊、飛来物による被害、

・季節:夏秋・台風接近時/1 年中・春

・分布:日本全体/米国中西部

と言う訳ですが、話を変えて、50才過ぎの小生にとってケンタッキー州とは? 第2の現役活動の場であった!

即ち USA 海外駐在 2 年間に近隣州にトヨタ、日産等が生産工場を初進出した時代でミシガン州デトロイト(車の町)

との間を往復しながら開発設計・営業業務に多忙を極めた往時が懐かしい～

ケンタッキー州はアメリカ東北部等にヨーロッパから移住した住民が西部～西部へとアパラチア山脈を越えて入植(現地住民から言えば占領)し、最初に築いた砦がある町 Harrodsburg に 2 年間居住(1 年単身 GolfLink 付コンドミニアム、1 年家内と900坪庭付新居)した 6 千人の典型的な田舎町で毎週ゴルフ!

当州は USA で最多の7州に囲まれ交通に至便。皆さん周知はケンタッキー・ダービーと馬の大放牧場、バーボンウイスキー産地。トルネードも有名で度々シェルターに逃げ込みました。また隣接の Bardstown は Lincoln、Foster の故郷。(トルネード、通過した跡形のフォト等が見つからず残念ですが)

西部劇時代の様な60両連結汽車が走り通行止め20分の有様。町の入口に信号1ヶのみでお先にどうぞ、と譲り合う人柄。車に鍵を掛けずに駐車も度々。早朝早いが残業0。住民の信仰心が厚く、毎日曜日に教会礼拝。

優先順位は第1に教会、第2に家族、第3にボラ活、第4に仕事の世界でした。今は大変化したようですが。

Cf アメリカ50州を読む地図(新潮文庫1998年)



KY の宏大なトゥモロコシ畑、

その皮で作られた特有な人形

御法川齊



Bardstown 特有の焼き物・お土産:

左は KY ダービー、右は KY リバーの魚釣り

⇒ 対処方は如何に??

2017,6,20 & 2018,5,20 講談社発行

項目	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2033		2040	2042
年表(1)				女性の半数が50才超え				全国民の3人に1人が65才以上			3戸に1戸が空き家に		自治体の半数が消滅	高齢者人口がピークを迎える
年表2～ 複雑で解り難いが～						バスの遅れ&買い物時間が長く	マンションの管理困難、スラム化	ドライバー不足で物が届かない	独り暮らしの高齢者の増加で住宅内事故が多発8割	溺死,窒息,転倒	森林が手入れされず表層崩壊	労働者の高齢化による諸課題	戦略的に縮む	使う部屋、物&付合う人を減らす